

# 染織史家 吉岡幸雄ワークショップ — 青の世界「藍」を染める —



当日ワークショップ会場にて吉岡幸雄氏の著書販売します。  
また「染司よしおか」の染小物も販売する予定です。

2010年8月21日(土) 15:00~18:00 (14:30 開場)

参加費(当日精算): 一般 3,000円/学生 2,500円(学生証要提示)

予約制: 電話または店頭にて受付 Tel.03-3408-9482 (定員30名様)

予約受付: 火~土曜 12:00~20:00 (祝日除く)

会場: **Bibliothèque** (ビブリオテック) [www.superedition.co.jp](http://www.superedition.co.jp)

京都「染司よしおか」五代目当主、吉岡幸雄氏をお招きしてオーガニックな天然植物染の魅力を、蓼藍の生葉染の実演を交えながら講演して頂きます。世界各地の藍のお話とともに夏にふさわしい「藍色」という伝統色がいかにして現代に再現されるか。ご期待下さい!!

**吉岡幸雄** 京都市に生まれる。早稲田大学第一文学部を卒業後、昭和48年、美術工芸図書出版「紫新社」を設立。1988年、生家「染司よしおか」五代目当主を継ぎ、染師福田伝士氏と日本の伝統色の再現に取り組むとともに、国内・海外にて幅広く講演を行っている。主な著書に「源氏の色辞典」、「日本の色辞典」など多数。



## About Bibliothèque

パリにあるあまたのカフェ。Le Dôme, Chat Noir, Deux Magots, La Coupole, Le Flore...。それらの音を重ね合わせると、様々な顔が浮かび上がってくる。ロートレック、モジリアニ、フジタ、サルトル、ブルトン、マルローなどの顔が。放浪する魂は、同類を引き寄せる。カフェに集まる様々な相親。沸き立つ叫びと囁き。一瞬の閃きを捉え、考えをより深め、そして何よりも他人を見出す場所。まさにカフェは、人間を熟成させる場所だったのです。そうした時を経て、30年代に「嘔吐」が、40年代に入り「異邦人」が Gallimard から放たれ、これらの作品は世界のシステムに対して 'Non' を投げつけることになります。2010年2月8日にオープンしたBibliothèqueも、オーナーのそんな思いで作られました。志はあくまで高く。書籍主体(蔵書約6,000冊)のカフェの誕生です。オープン以来、様々な方に訪れていただきました。インスピレーションを得るために、デザインの資料探しに、言葉を求めに、そして一人で在るために。決して広い空間ではありません。けれどもこの空間の中に、充ちた世界を閉じ込めました。「世界を見るために、世界中を旅する必要はない。今、ここに、あなたの目の前にある一枚のマロニエの葉に、世界を見ることが出来なければ、永遠に世界を見ることは出来ないだろう」(ジャコモメッティ)

Bibliothèqueは、世界へ向けて開かれた窓でありたい。Micro's Macro (小さいながらの宇宙)を目指して、お客様とともに歩を進めて参ります。是非、ご来店ください。



東京都渋谷区千駄ヶ谷3-54-2  
山手線 原宿駅・副都心線 北参道駅から徒歩7分



**Bibliothèque**  
ビブリオテック

**BOOKS**  
&  
**CAFÉ**



OPEN 12:00 → 21:00 Tuesday → Saturday  
[www.superedition.co.jp](http://www.superedition.co.jp)

このスペースは、1975年に創立したデザイン事務所・株式会社スーパーエディションが長年にわたり蒐集した蔵書を一般の方々に開放し、自由に閲覧していただくために開設しました。名前は Bibliothèque (ビブリオテック: 図書室)。Bruce Weber や Avedon, Penn, Herb Ritts などの写真集や Andy Warhol や Damien Hirst などのアートブック、歌舞伎や陶芸、浮世絵などの日本文化、そして、70年代、80年代の VOGUE や ELLE などのファッション雑誌や、映画本、料理本などなど、今では手に入らない初版本、絶版本もたくさんあります。どうぞ、ごゆっくりご覧ください。薫り豊かなコーヒー、または紅茶をお淹れします。ご利用料はお一人様¥500です。